



2014年 8月期 中間

INTERIM BUSINESS REPORT

JASDAQ 証券コード2157 2013.9.1-2014.2.28



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカ ホールディングス



好調なカーブス事業の拡大に加え、カラオケ事業では海外展開の基盤整備が順調に進み、次の成長ステージが見えてまいりました。—— 代表取締役社長 腰高 博



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

Q1 当上半期の業績は、いかがでしたか？

当上半期の連結業績は、当初予想の通り、増収減益となりました。引き続き、カーブス事業の躍進が売上・利益の双方に寄与しました。その一方で、カラオケ事業と温浴事業は低調な推移となり、これが当上半期の減益要因となりました。

カラオケ事業と温浴事業は、特に、2月に2週連続して週末の日本を襲った大雪の影響が大きく、多くの店舗で開店休業を余儀なくされました。ただ、カラオケ事業については、昨年11月頃から既存店の業績が回復してきており、客数も増加し、3月に入ってもこの傾向は続いております。加えて、カラオケの新業態「ワン

カラ」も、リピーターが増加しお客様から高い支持を集めるなど、今後の展開に期待が膨らむ状況となっております。

Q2 「カラオケ事業」では、シンガポールにおける現地法人の設立やM&Aの実施など、海外展開が新たなステージに入ったのでしょうか？

国内屈指のカラオケ店舗ネットワークを構築した当社は、国内においてはその地位を強化する取り組みを推し進めると同時に、今後のカラオケ事業の新たな成長ステージの創出に向けて海外展開の強化・加速に取り組んでおります。

海外展開は、皮切りとなった韓国での出店が、現在4店舗まで進んでおります。今後はASEAN全域への出店を目指していきたいと考えており、そのためにはシンガポールを拠点とした事業拡大が急務であると判断しました。そこで、昨年12月に現地法人KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD. を設立し、本年2月にはシンガポールにおいてトップシェアのカラオケチェーンを展開するK BOX社の全株式を取得しました。

第一段階としてまず、K BOX既存店の収益構造の把握、そして、「まねきねこ」のノウハウも活用した高収益店舗づくりを行います。第二段階として、この高収益

モデルを、マレーシア、ベトナム、インドネシアなどASEAN全域へと広げていきます。

シンガポールは、ASEAN全域からビジネスマンや留学生が集まる世界有数の都市のひとつです。その中でトップシェアを持つK BOXは、ASEAN各国の富裕層の間で非常に高い知名度とブランド力を有しており、これが今後の拡大にかなり優位に働くものと考えております。

Q3 「カラオケ事業」では、新システム「すきっと」の導入も全国で進んでいますね。

新システム「すきっと」は、楽しい機能が満載されており、本年4月には「まねきねこ」全店への設置がほぼ完了しました。これにより当社の店舗は、従来の通信カラオケシステムのほか、独自性の高い「すきっと」が加わったことで、他店に比べて競争優位性を更に高めることができたと考えております。

「すきっと」の全店設置を受けて、5月から「全国ご当地アイドル応援企画」をスタートさせる予定です。これは、ご当地アイドルの楽曲を「すきっと」上で制作し、ユーザーが「すきっと」で応援することで、最終的に全国6ブロック代表選抜による決勝大会を催す一大キャンペーンです。「すきっと」から“新たな全国区アイドルが誕生するかもしれない”といった企画ですので、是非ご注目いただければと思います。

今後、国内での「すきっと」の定着を受けて、ゆくゆくは海外でも「すきっと」を差別化の武器、高収益化の武器のひとつにしていきたいと考えております。

Q4 「カーブス事業」の躍進については、どのように評価していますか？

カーブス事業は、日本の高齢社会の深まりの中で、女性シニア層のヘルスケアサポート、ひいては日本の医療・社会保険制度にまで貢献するという、いわば“社会問題解決型事業”として、今後も注目を集める事業ではないかと思っております。

日本でのカーブスの展開が始まって、今年で満10年を迎えますが、この間、カーブスは常に、会員様に健康になってもらいたい、美しく変わってもらいたい、ご満足いただきたい、といった想いを重視してきました。そして、この想いを実現するために、日本独自のサービスやオペレーションのブラッシュアップ、新たなノウハウの開発などを推し進め、いわばイノベーション



ンを積み重ねてきました。たとえば、会員様を姓(苗字)ではなく、親しみを込めて下のお名前でお呼びするといったことなど、何気ない気づきの積み重ねが、現在の躍進に確実につながってきているのだと思います。

当期も120店舗程度の出店を計画しており、躍進はまだ持続するものと考えております。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

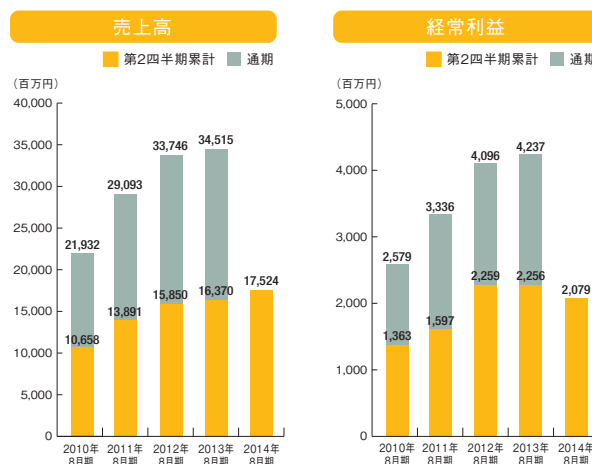
カラオケ事業、カーブス事業ともに、今後の事業拡大の道筋がはっきりと見えております。温浴事業は、収益性回復に向けた施策を実施しています。今後も、各事業の戦略を着実に推し進め、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様への利益還元につきましては、当初予想通り、1株当たり中間配当25円とさせていただきます。また、株主優待券をご利用いただき、当社店舗へ是非とも足をお運びください。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財務ハイライト

(2013年9月1日～2014年2月28日)



高齢者でも取り組みやすいサーキットトレーニングが、4週間の実施で認知機能を改善させることを実証。

カーブスでは、東北大学加齢医学研究所との共同研究により、短期間のサーキットトレーニングが高齢者の認知機能に及ぼす効果について、科学的な検証を実施しました。その結果、4週間の実施で広範囲な認知機能を改善することが実証されました。サーキットトレーニングは、運動する複数の人たちが輪(サーキット)になり、有酸素運動と筋力運動の2つのトレーニングを交互に組み合わせを行い、1回30分という短時間でできることから、高齢者でも取り組みやすいトレーニングです。今回の実証研究によって、カーブスの提供するサーキットトレーニングは、今後急速な増加が見込まれる高齢者の認知症予防や認知機能リハビリなどに貢献していくことができるものと期待しております。



▲写真は、今回の実証研究の発表会にて
(左)株式会社カーブスジャパン 代表 増本 岳
(中)東北大学災害科学国際研究所 助教 野内 類氏
(右)東北大学加齢医学研究所 教授 川島 隆太氏

カーブス会員様向けの新企画「日帰りバスツアー」が大好評をいただき、2014年も実施を予定。

カーブス事業では、会員の皆様がカーブス会員であることの価値を更に感じていただけるよう、新企画「日帰りバスツアー」を立ち上げました。観光系・体験系・お花見メイン・紅葉めぐりメインなど数種類の企画を地域ごとにご用意。2012年のトライアル企画を経て、2013年から全国実施をスタートさせました。5月と11月の2度にわたる実施で延べ15,000名以上の会員様にご参加いただきました。実施後のアンケートで「次回また参加したい」会員様が97.7%という結果を受け、2014年も5月と11月に実施を予定しております。



事業セグメントの状況

カラオケ事業

当第2四半期連結累計期間実績

売上高95億7百万円

新システム「すきっと」の全店導入(本年4月)に向けた設置、新業態「ワンカラ」の出店加速、既存業態「まねきねこ」の新規出店とリニューアルの実施などに取り組んだ結果、売上高は95億7百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は7億18百万円(同42.8%減)となりました。

温浴事業

当第2四半期連結累計期間実績

売上高7億88百万円

カラオケ事業で培ってきたノウハウを活かしながら施設経営の再生に取り組んだ結果、売上高は7億88百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント損失は1億10百万円(同90百万円損失額減少)となりました。

不動産管理事業

売上高1億38百万円

事業セグメント別売上高構成比

■ カラオケ事業	54.3%
■ カーブス事業	40.5%
■ 温浴事業	4.5%
■ 不動産管理事業	0.7%

Segment Information

カーブス事業

当第2四半期連結累計期間実績

売上高70億89百万円

加盟店と一体となってサービスの更なる向上・改善、通いやすい店舗網構築に努めた結果、店舗数と会員数が好調な増加を続け、売上高は70億89百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は14億99百万円(同27.5%増)となりました。

株主優待制度については
ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/stockholder.html>

シンガポールにカラオケ事業の新拠点を設立するとともに、K BOX社をM&Aにより取得。

当社グループは、2013年12月、シンガポールの新たな拠点としてKOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD. (当社子会社KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.の100%出資子会社) を設立しました。そして、2014年1月には、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD.が、シンガポール国内トップシェアのカラオケチェーンを展開するK BOX社 (K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD.) の全株式を取得し、コシダカグループ傘下に加えしました。

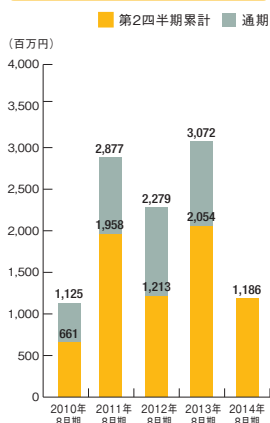
当社グループは、東南アジアを中心とした海外におけるカラオケ事業の展開を目指していますが、今回の一連の取り組みは、今後これを本格化させるための中心的な拠点としてシンガポールを位置づけたものです。「K BOX」ブランドに当社グループが有するサービスなどのノウハウを加えることによって、今後の東南アジア展開がより加速され、収益力が一層強化できるものと考えております。



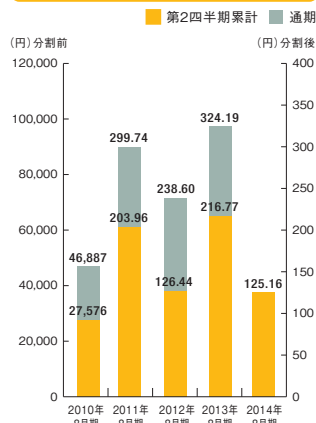
当第2四半期 連結決算の ポイント

カーブス事業の躍進により増収基調を保ちました。売上高は175億24百万円(前年同期比7.1%増)、経常利益は20億79百万円(同7.9%減)となりました。また、四半期純利益は、11億86百万円(同42.3%減)となりました。

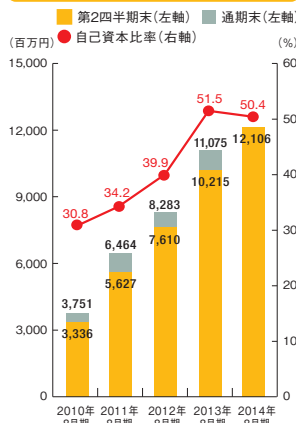
四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



純資産 / 自己資本比率



Financial Highlights

ポイントの解説

1 売上高について

カラオケ事業では出店強化の方針のもと、13店舗の新規出店を行い、前期実績を上回りました。カーブス事業では58店舗増加(会員数3千人増加)し好調な拡大を続け、これが増収確保の主要因となりました。

2 利益について

カラオケ事業は、2月の2度にわたる大雪にもかかわらず昨年末からの回復傾向が続いております。温浴事業は黒字化に向けたコスト削減等を行っています。一方、カーブス事業は大幅な増益を続けています。これらの結果、営業利益は前年同期比8.1%減となりました。

(注)2011年9月1日をもって、1株につき400株の割合で株式分割を実施しております。

■ キーワードで紹介！ 腰高の経営哲学

オーナーシップ

～経営者たれ！ 当事者意識を持って！～

「社員一人ひとりが経営者と同じような意識を持っている会社は強い」といった考え方を耳にすることがあると思いますが、私もその考え方の持ち主です。私はそれを「オーナーシップ」という言葉で表現しています。仕事を“与えられたもの”ではなく“自分自身の課



題”と主体的に捉えて、何事に対しても強い責任感と情熱を持って取り組む姿勢こそが「オーナーシップ」です。言い換えれば「当事者意識」を持つということです。

当社では「ピーアンビシャス日」（社員独立制度によって新たな経営者が誕生する日）を年2回設けており、去る3月1日、5名の社員が新たな経営者として巣立ちました。経営者として更に強い覚悟を持って経営に臨んでいかれることを期待しています。

VOICE

現場社員の声

スタッフ店長第1号組として、同じような立場で頑張っている全国の仲間たちとともに、更に努力を重ねていきたいと思います。



まねきねこ 広島五日市店
スタッフ店長 関東里美さん

入社10年となる私が、これまで変わらず貫いてきたことがあります。それは、「お客様の気持ちをいち早く察知し、行動することです。小さな気づきを大切にしながら、お客様はもちろん、上司、同僚、スタッフとの人間関係を築いてきました。主婦業との両立をしながらシニアスタッフとして頑張ってきた私でしたが、新たに設立された「スタッフ店長制度」によって、私を含め、同じような立場で頑張ってきた方が「スタッフ店長」という最高のポジションを手に入れることができました。今までと変わらない生活スタイルを維持しながら店長としての役割を評価していただける新制度に感謝し、スタッフ店長第1号組としてお手本になれるよう、全国の仲間たちとともに頑張っていきます。

お客様とスタッフが主役を演じられる環境の提供こそが私の使命だと考え、日々努力しています。



まねきねこ 宇都宮江曾島店
スタッフ店長 川俣裕美さん

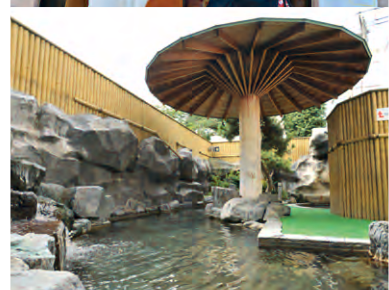
2013年12月、私のもとに素敵な便りが届きました。私を「スタッフ店長」に任命するという本社からの辞令です。時には悔し涙を流しながらも、「まねきねこ」で約9年間、私なりに真剣に楽しく、充実した日々を過ごしてきた、一つの結果でした。当初は、店長という重責感から、大切なものささえ見失いがちなほど余裕のない毎日でした。しかし、それを乗り越えた時に気づくことができました。主役はお客様であり、私とともに働いてくれるスタッフたちだということです。お客様に少しでも居心地の良い空間を提供するために、全スタッフが今以上にイキイキと楽しく働ける環境を作っていくことが、店長としての私の使命だと悟りました。今は、迷うことなく、この使命に向かって日々励んでいます。



カーブス事業



温浴事業



インフォメーション

■ 会社の概要 (2014年2月28日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 東京オフィス 東京都千代田区丸の内一丁目6-5
 丸の内北口ビルディング27階
 資本金 4億9,360万円
 事業内容 カラオケ事業
 (店舗数: 352店舗)
 カープス事業
 (加盟店舗数: 1,397店舗)
 温浴事業
 (店舗数: 7店舗)
 従業員数 グループ従業員 2,796名
 (正社員828名、パート・アルバイト 1,968名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

■ 役員 (2014年3月1日現在)

代表取締役社長 腰高 博 常勤監査役 西 智彦
 専務取締役 腰高 修 監査役 寺石 雅英
 常務取締役 朝倉 一博 監査役 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子
 取締役 土井 義人

■ 大株主 (上位3名)

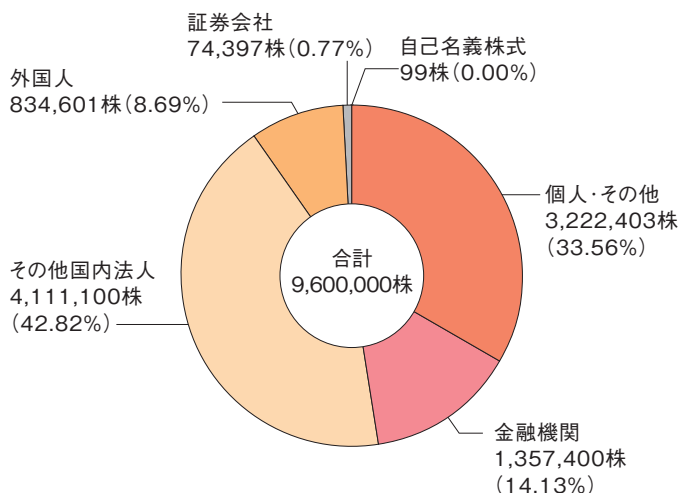
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	3,116,000	32.45
腰高 博	1,568,000	16.33
株式会社アイエムオー	933,000	9.71

■ 株式の状況 (2014年2月28日現在)

発行可能株式総数 38,400,000株
 発行済株式の総数 9,600,000株
 株主数 2,137名

*2011年9月1日付をもって当社普通株式を
 1株につき400株の割合をもって分割いたしました。

■ 所有者別株式分布状況 (2014年2月28日現在)



■ 株主メモ (2014年2月28日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日
 定時株主総会・期末配当 毎年8月31日
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店および全国各支店で行っております。

住所変更のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
 株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託
 銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申
 出ください。

「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特
 別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
 確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくこと
 ができます。
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様
 につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行
 われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取
 引の証券会社にご確認をお願いします。
 ※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>



株式会社コシダカホールディングス

〒371-0847
 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 電話 027-280-3371(代) Fax 027-280-3382



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。